

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL

20
YEARS
MUZA KAWASAKI
SYMPHONY HALL

ほぼ 日刊サマーミュージック



Hobo Nikkan Summer Muza



(左) 指揮：ジョナサン・ノット
(右) ソロ・コンサートマスター：崔文洙

ご来場者の声

昨年に続き、井上マエストロがご病気でフェスタサマーミュージックで振れないのか、と残念に思っていました。マエストロ・ノットに率いられた新日本フィルのマーラー7番は、メリハリがあつて立体的で研ぎ澄まされていて凄かったです。ミュージックを熟知しているマエストロ・ノットが、新日本フィルの持てる力を存分に引き出したように感じました。代役の指揮者での演奏とはとても思えません、ノット・ファン、新日本フィルファンが爆増しそうです。(情報編集業・グレース・イースト) /ミュージックで聴くマーラー、最高でした！トランペットめっちゃくちゃカッコよかったです！(20代・会社員・こるねと) /大編成、大迫力の演奏で大満足。ジョナサン・ノット氏の魂をゆさぶられるような指揮振りに、カーテンコールは興奮のつばでしたね。マーラーは「夜の歌」を多様性にあふれたこの世界への絶大なる讃歌としたかったのではないのでしょうか。超一流クアルテットのプレコンとあわせて素晴らしい音楽会でした。(70代・無職・ストーン) /今回、チケット購入に出遅れて、4階席になりました。しかし4階でもステージに非常に近く思われ、ホールのすぐれた設計に感じ入りました。普段は1・2階で聞くことが多いのですが、4階ではまた違った聴こえ方がして、興味深かったです。(中略)今度はまた別の席を楽しんでみたいと思います。(50代・会社員・お父さん)

一期一会の「夜の歌」 満場の喝采！

8/2 新日本フィルハーモニー交響楽団

井上道義氏のご快復を心よりお祈り申し上げます。

満場のお客さまの喝采、ミュージア川崎シンフォニーホールと相思相愛のジョナサン・ノット、ここぞというセクションに素晴らしい若手(たとえばフルートの清水伶)や実力者(たとえばヴィオラの安藤裕子)を配した新日本フィルハーモニー交響楽団の笑顔がすべてを語る。指揮者に起立を促されても「今日はマエストロ、あなたです」と称え、立ち上がりながら拍手を送り続けるステージの音楽家たち。近年指揮者を誉める行為は、客席のスタンディングオベーションやソロカーテンコールを含めて

すっかり儀式化されてしまい「これが今どきなのかね」と中高年っぽいことをつぶやきつつ、しっかり参加はしている。が、8月2日は違った。新日本フィルも私たち聴き手の多くも、一筋縄にいかない巧緻で妖しい音楽を前にすればするほど燃え、響きの多層性や明晰なコントラストに「こだわる」ジョナサン・ノットを称えずにはいられなかった。眼前を行き交う幾多のフレーズを、その句読点まで慈しみ、楽想に応じて戯れつつ、最終的には柔軟性のあるテンポで駆け抜けてゆくマエストロ。そんなノットならではの遠近法構築に懸命に応えるオーケストラ。ライブはこうでなくては。

フェスタサマーミュージック KAWASAKI2024の采配にも拍手を。何が素晴らしいってホールに集う聴き手と音楽家へのリスペクトだ。そんなことは公演主催者として当たり前と言うなかれ。マーラーの交響曲第7番。井上道義からジョナサン・ノットへ。カジュアルな装いでプロの仕事をするフェスタサマーミュージックが、最良の運、縁を手繰り寄せた。

(音楽評論家・奥田佳道)



プレコンサートの様子

フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2024 明日の公演情報

NHK交響楽団

沼尻竜典&N響のザ・ブラームス

ミュージア川崎シンフォニーホール

8.4(日) 16:00開演

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 *

ブラームス(シェーンベルク編)：ピアノ四重奏曲第1番 (管弦楽版)



指揮：沼尻竜典



ヴァイオリン：戸田弥生

沼尻さんと戸田さんからのメッセージ



S: 完売 A¥完売 B¥4,000
U25: 各席半額

TEL・WEB予約：当日14:00まで
当日券カウンター14:30より

プレコンサート 15:15～

川上哲夫：コントラバス四重奏のためのソナタから

【コントラバス四重奏】

稲川永示、西山真二、矢内陽子、桑原孝太郎

お店でお得にグルメを楽しもう！

全79店舗

パートナーショップ

サマーミュージックの公演会場で配布する「優待券」を提示すると、割引やお得なサービス等の特典が受けられます！

サービス利用期間

2024年
7月27日(土)
～8月12日(月・振休)



対象店舗や特典詳細はこちら

MUZA's
Recommend

指揮者オッテンザマー再登場！ × 気鋭のヴァイオリニスト

ミュージア川崎シンフォニーホールと東京交響楽団が贈る、休日午後のコンサート・シリーズ「名曲全集」。9月14日(土)の第199回公演に出演するのは、「指揮者」アンドレアス・オッテンザマー。わずか21歳でベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席クラリネット奏者に就任し、世界から注目を集めるスター・クラリネット奏者ですが、近年は指揮者としての評価も非常に高く、2022年の名曲全集で東響と初共演しました。その際に吹き振りのために携えていたクラリネットを今回

は持たず、純然たる指揮者として再びミュージアのステージに登場します。

そして、ソリストには仙台国際音楽コンクールにおいて史上最年少となる17歳で優勝(2022年)を果たした気鋭のヴァイオリニスト・中野りなを迎えます。演奏するのは、仙台国際音楽コンクールでも披露したモーツアルトのヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」。モーツアルトが後半生を過ごしたウィーンで研鑽を積んでいる彼女の、さらに磨き抜かれた演奏にどうぞご期待ください！

(事業・ほ)

20周年記念グッズ好評販売中！

★ チケットホルダー
税込 ¥550 (税抜 ¥500)



★ 今治製ハンドタオル
税込 ¥660 (税抜 ¥600)



販売場所

- ・ホール内ショップ
- ・ホール2F ホワイエ (サマーミュージック公演時のみ)
- ・5F事務室 (9:00 ~ 19:00)

他にもサマーミュージックグッズ各種好評発売中♪

ミュージア川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団 名曲全集第199回

2024. 9.14(土) 14:00開演

ストラヴィンスキー: 弦楽のための協奏曲
モーツアルト: ヴァイオリン協奏曲 第5番「トルコ風」
チャイコフスキー: 交響曲 第1番「冬の日の幻想」

チケット S ¥6,500 / A ¥5,500
B ¥4,500 / C ¥3,500 25歳以下当日券 ¥1,000



指揮: アンドレアス・オッテンザマー



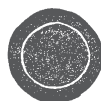
ヴァイオリン: 中野りな



ほぼ日刊サマーミュージックはWebでも公開中！
Webでは過去のほぼ日刊サマーミュージックも公開しております。



Webアンケートではご回答いただいた全員に
サマーミュージック限定壁紙をプレゼント！



パートナーショップのご紹介
エンジョイ!
川崎!!
Enjoy Kawasaki



「アジアな屋台でクラフトビール」

「アジアフード×クラフトビール」とっても夏っぽい組み合わせ！

インド映画 & 音楽が流れどことなく屋台感もある店内、めくるめくアジアフード商品の陳列に目移りしながらも、モモ(ネパール風餃子)とクラフトジンジャーエールをいただきました。

熱々モモはジューシーな餡にもちもちの皮でちよっぴりスパイシー、ひんやり野菜ソースにディップしたら少しまるやかになってそれも美味。生姜しっかり刺激的なジンジャーエール、でもすっきり優しい甘さで、スパイシーなフードがすすんでしまうこと請け合い◎

さて、外せないはずのクラフトビールはというと……
楽しく選んでお土産に！自宅でもアジフ×クラビが堪能
できますので、ぜひお試しください♪

(ビアフェス行きたいC)

アジフクラビ

1 ラッチタデッラ

🎁 パートナーショップ特典

飲食代 5% 引き

※「優待券」持参者および同伴者



お土産のクラフトビール

フェスタサマーミュージック公式サイト
<https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#サマーミュージック
#ミュージック 20周年
で検索 & 投稿
お待ちしております！



X: @summer_muza

Facebook: @kawasaki.sym.hall

Instagram: @muzakawasaki

YouTube: @kawasakisymhall



ミュージアの歴史を感じて、驚きと同時に感動しました。
ミュージアのホール2階ロビーにて開催している「サマーミュージック20年の歩み展」には、小川さんの演奏を真摯に見つめる田久保さんの入った写真も展示しております。ぜひ公演の合間にご覧ください。(今年から広報専任◎モーフ)

私が入った年はサマーミュージックで「こどもフェスタ」がスタートした年。今ではおなじみになった小川典子さんの子ども向けピアノ企画の際には、舞台上で子どもたちのケアをする係でした。「子ども向けだからそ本気のプログラム」の小川さん。それに応えるかのような子どもたちの集中した姿に感動したのを覚えています。その翌年の同企画に、今夏ソリストを務めることになる、幼い田久保萌夏さんが聴きにきていたとは……！取材でその話になった際は、ミュージック(自分)の歴史を感じて、驚きと同時に感動しました。

ミュージアのホール2階ロビーにて開催している「サマーミュージック20年の歩み展」には、小川さんの演奏を真摯に見つめる田久保さんの入った写真も展示しております。ぜひ公演の合間にご覧ください。(今年から広報専任◎モーフ)

スタッフ日誌